

取組方針に基づく取組状況一覧表

資料2-1

1) 円滑かつ迅速な避難のための取組 ① 情報伝達、避難計画等に関する事項

市町の取組
土砂災害に関する県の取組
水害に関する県の取組

緊急行動計画	主な取組項目	目標時期	取組機関	取組方針に基づく取組状況
■ 洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)				
2	・平成29年6月末に構築された水害ホットラインについて、毎年出水期前に協議会の場を活用し、ホットラインの見直し・確認を行う	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・担当者会議にて確認・検証を行った。
	・土砂災害に関するホットラインを構築する	2018..6まで	1市4町 滋賀県	・2018年6月25日付けにて、土砂災害に関するホットラインの連絡体制を策定・通知済。(2019年度は土砂災害警戒情報の発表が無かったため実績なし。) ・町内に土砂災害警戒区域が無いため、未構築。(豊郷町)
■ 避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認(水害・土砂災害対応タイムライン)				
3	・河川管理者のタイムラインを精査し、ホットラインの運用や避難勧告等のタイミングを記載した上で協議会の場を活用し共有する	2018..6まで	1市4町 滋賀県	・2018年3月30日に水害対応型タイムライン作成、協議会で共有した。
	・土砂災害について、市町地域防災計画に、定量的かつ客観的な避難勧告発令の基準を設定する	2019.3まで	1市4町	・地域防災計画に発令基準を(一部)記載済み。(彦根市、愛荘町、多賀町) ・避難勧告等判断・伝達マニュアルに発令基準を記載済み。(甲良町) ・町内に土砂災害警戒区域が無いため、未設定。(豊郷町)
	・土砂災害警戒情報について検証し、精度向上を図る	引き続き実施	彦根地方気象台 滋賀県	・基準作成に係るパラメーターの変更による最大60分間積算雨量の引上げ、及び、最新の雨量・災害データをもとに、新しい土砂災害発生危険基準線(CL)を作成した。また、発表除外格子については、各市町へヒアリングした結果を反映した。2019年出水期から新基準での運用を開始した。 ・2019年5月29日から土砂災害警戒情報に警戒レベルを記載した。 ・2019年6月28日に、土壌雨量指数と危険度判定の高解像度化を実施した。 ・2021年出水期からの高解像度化に対応した基準設定に向けて、より精密でレベル化にも対応した適切な基準となるよう検証を行った(気象台)。
	・土砂災害警戒情報を補足する情報の発信について、充実を図る	引き続き実施	滋賀県	・2019年8月1日より、しらしが(しらせる滋賀情報サービス)において、警戒レベルに応じた「大雨による土砂災害の危険度」の配信を開始した。
	・土砂災害警戒区域や浸水想定区域の見直しに合わせて「タイムライン(防災行動計画)策定・活用指針」に基づくタイムラインを作成する	2022.3まで	1市4町 滋賀県	・見直しに合わせて作成予定。(彦根市、豊郷町、甲良町、多賀町、滋賀県) ・浸水想定区域に関するタイムラインを作成済。(愛荘町)
・毎年出水期前に協議会の場を活用し、タイムラインの確認・検証を行う	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・担当者会議などで確認・検証を行った。(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町、滋賀県) ・タイムライン未策定(甲良町)	
■ 水害・土砂災害危険性の周知				
4	・地先の安全度マップによる浸水想定及び河川水位の情報を提供することで、水害の危険性を周知する	引き続き実施	滋賀県	引き続き実施
	・危険性の高い中小河川における避難判断の目安を検討する	必要に応じて 順次実施	滋賀県	
	・愛知川における避難判断の目安検討と情報共有を実施する	引き続き実施	彦根市 愛荘町 滋賀県	・愛知川沿川防災情報WGの場で情報を共有
	・土砂災害防止法に基づき指定した土砂災害警戒区域等や基礎調査の結果を公表し、周知する	引き続き実施	滋賀県	・2019年度は土砂災害警戒区域等の新たな指定は無かったが、完了した基礎調査の結果について、滋賀県ホームページでの公表、市町への通知により周知した。
・毎年協議会の場において、水害危険性および土砂災害の危険性周知について情報共有する	順次実施	1市4町 滋賀県	・新たな情報があるごとに情報共有した。	
■ ICTを活用した洪水情報・土砂災害警戒情報・避難情報等の提供				
5	・防災情報を、わかりやすく伝えるポータルサイト(SISPAD)を運営・更新する	引き続き実施	滋賀県	引き続き実施
	・避難情報を確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等を検討する	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・2019年2月19日、22日にファーストメディア、ヤフーと防災アプリに関する協定締結。 FMひこねのFM電波を利用した同報系屋外放送設備の増設(彦根市) ・2019年6月21日ヤフーと防災アプリに関する協定締結(愛荘町) ・2020年6月10日ヤフーと防災アプリに関する協定締結(豊郷町) ・2019年12月23日にヤフーと防災アプリに関する協定締結(甲良町) ・防災行政無線などの導入、普及。(彦根市、豊郷町) ・検討中。(愛荘町、甲良町、多賀町)
	・土砂災害警戒情報について、プッシュ型しらしがメールの利用促進を図る。	引き続き実施	滋賀県	・土砂災害降雨危険度、XRAINについて、しらしがメールの配信を開始した。 ・土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設にしらしがメールの登録を依頼した。
■ 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施				
7	対象となる全要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・避難訓練の実施を目指し支援する	2022.3まで	1市4町 滋賀県	・年次計画を策定中。2020年度を目標に防災計画へ掲載予定。(彦根市) ・避難確保計画の作成を支援(愛荘町、豊郷町) ・目標年度までに支援し作成予定(甲良町、多賀町) ・担当者会議で協議、情報提供した。(滋賀県)
	・避難確保計画の作成状況、避難訓練の実施状況及び施設の位置付けの見直しについて、毎年協議会の場において進捗状況を確認する	順次実施	1市4町 滋賀県	・担当者会議で進捗状況を確認した。

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

記載根拠	主な取組項目	目標時期	取組機関	取組方針に基づく取組状況
■想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と周知				
8	・想定最大規模の洪水浸水想定区域図について作成し公表する ○愛知川 ○宇曾川 ○芹川 ○犬上川 ○琵琶湖	2020.3まで 2020.3まで 2020.3まで 2019.3まで 2019.3まで	滋賀県	○愛知川 2020.6.9指定 ○宇曾川 2019.3.29指定 ○芹川 2019.3.29指定 ○犬上川 2019.3.19指定 ○琵琶湖 2019.3.19指定
	・地先の安全度マップについて、更新し公表する	2020.3まで	滋賀県	2020.3指定
	・平成15年度公表の土砂災害危険箇所については平成29年度に基礎調査を完了し、土砂災害警戒区域等の指定を完了する	2019.3まで	滋賀県	・2003年度公表の土砂災害危険箇所については、2018年度に土砂災害警戒区域等の指定を完了した。
	新たに判明した土砂災害リスク箇所について、基礎調査を完了し公表する	2020.3まで	滋賀県	・2019年度に基礎調査を完了、公表した124箇所について、今年度中に土砂災害警戒区域等の指定を完了すべく手続きを実施している。
	・毎年協議会の場において進捗状況を確認する	順次実施	1市4町 滋賀県	・進捗状況を確認した。
■水害・土砂災害ハザードマップの改良、周知、活用				
9	・洪水浸水想定区域図、地先の安全度マップの更新、土砂災害警戒区域等の指定に合わせて水害・土砂災害ハザードマップを更新し公表する	順次実施	1市4町	・順次実施。(彦根市、愛荘町、甲良町) ・土砂災害警戒区域等の指定に合わせて土砂災害ハザードマップを更新した(彦根市) ・更新及び公表済み(豊郷町、多賀町)
	・「ため池ハザードマップ」を作成する	引き続き実施	彦根市	・11箇所のため池については作成、公表済み。残りについては順次作成、公表予定。
■浸水・土砂災害実績等の周知				
10	・地先の安全度マップによる浸水リスクを公表する	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・引き続き実施。(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町、滋賀県)
	・流域治水条例による想定浸水深の設定を行う	引き続き実施	滋賀県	・引き続き実施
	・水害・土砂災害履歴調査結果を公表する	引き続き実施	滋賀県	・引き続き実施
■防災教育の促進				
11	・防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組を実施する	引き続き実施	滋賀県	・要請があるごとに対応する。
	・学校の要請に応じた小学生等を中心とした避難経路の安全点検を実施する	引き続き実施	滋賀県	・要請があるごとに対応する。
	・県内の小中学校を対象とした土砂災害防止に関する絵画作文コンクールを実施する	引き続き実施	滋賀県	・2019年6月1日～9月15日の期間で「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」を実施し、26校から、計105点の応募があった。小中学生に対して、土砂災害への備えについて啓発を図った。

③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組

記載根拠	主な取組項目	目標時期	取組機関	取組方針に基づく取組状況
■危機管理型水位計、河川監視用カメラの整備				
12	・河川管理上重要な箇所について河川防災カメラ(CCTVカメラ)を設置し情報を提供する	引き続き実施	滋賀県	・2019年度は、犬上川の2箇所に設置した。
	・水防団等の水防活動を支援するためCCTVカメラを設置し情報を提供する	引き続き実施	滋賀県	
	・氾濫する恐れのある地域等において洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する簡易水位計・量水標を設置・観測し、情報共有する	順次実施	1市4町 滋賀県	・2019年度に2箇所設置した。 (不飲川:無名橋、安壺川:大川橋)
	・中小河川へ簡易量水標を設置する	必要に応じ 引き続き実施	1市4町 滋賀県	
■避難のための情報発信				
—	・避難情報を各世帯へ確実に届けるため、防災行政無線等(無線のデジタル化等)を普及する	引き続き実施	愛荘町 豊郷町 甲良町	・FMひこねのFM電波を利用した同報系屋外放送設備の増設(彦根市) ・引き続き実施。(豊郷町) ・各世帯に防災行政無線を配布している(甲良町)
	・道路付帯施設(照明柱、独立柱等を含む)へ避難誘導表示を整備する	引き続き実施	彦根市	・関電サービスと広告付き避難看板設置について協定締結。今後設定予定。

2)的確な水防、土砂災害防止活動のための取組

①水防体制の強化に関する事項

記載根拠	主な取組項目	目標時期	取組機関	取組方針に基づく取組状況
■重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認				
15	・1級河川における重要水防箇所について、5ヶ年点検計画を作成し、河川管理者と関係市町が共同点検を実施する	2021.6まで	1市4町 滋賀県	・点検計画を策定し、滋賀県と愛荘町と彦根市で共同点検を実施した。他市町は実施に向けて現在調整中。
	・水防資機材について、河川管理者、水防管理者の保有情報を共有する	順次実施	1市4町 滋賀県	・担当者会議の場などで情報共有した。
	・協議会の場において、共同点検の実施状況、水防資機材の状況について確認する	順次実施	1市4町 滋賀県	・担当者会議の場で実施状況を確認した。
■水防・土砂災害に関する広報の充実				
16	・協議会の場において、水防団員(消防団員)、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報について検討の上実施する	順次実施	1市4町 滋賀県	・順次実施。(愛荘町、甲良町、多賀町) ・消防団員の募集を強化。(豊郷町)
	・自主防災組織の体制づくりを支援する(組織の育成や立上げサポート等)	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・湖東地域の自主防災組織の指導的立場の方を対象とした研修会を予定(令和2年3月17日)していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 ・補助金による支援。(彦根市、多賀町) ・引き続き実施。(愛荘町、豊郷町、甲良町)
■水防・土砂災害防止訓練の充実				
17	・水防技術に関する勉強会を実施する	引き続き実施	彦根市 滋賀県	・2019年4月26日に滋賀県水防研修会を開催。
	・毎年、水防研修・水防訓練を実施する	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・水防訓練などを実施(彦根市、多賀町)
	・毎年、市町主催の土砂災害を対象とした訓練や、県と市町による土砂災害情報伝達訓練を実施する	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・2019年6月12日に、土砂災害情報伝達訓練を実施し、改善すべき点についてフィードバックを行った。(彦根市、愛荘町、甲良町、多賀町、滋賀県) ・2019年6月16日に彦根市で実施された土砂災害に対する避難訓練において、県砂防課・湖東土木事務所も協力し、災害図上訓練等を実施した。(彦根市、滋賀県)
■水防団間での連携、協力に関する検討				
18	・協議会の場を活用し、大規模な氾濫に対してより広域的、効果的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容について検討する	順次実施	1市4町 滋賀県	・2018年4月20日の水防災意識社会再構築ビジョン連絡調整会議に出席。(彦根市) ・順次実施(愛荘町、甲良町、多賀町)

②市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項

記載根拠	主な取組項目	目標時期	取組機関	取組方針に基づく取組状況
■市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実				
19	・市町村庁舎や災害拠点病院のリスクを確認し協議会の場を活用し、情報共有する	順次実施	1市4町 滋賀県	・第3回担当者会議の場で情報共有する。
■市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)				
20	・協議会の場を活用し、市町村庁舎や災害拠点病院のリスクを踏まえ機能確保の対策について検討する	順次実施	1市4町 滋賀県	・順次実施

3)氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組

記載根拠	主な取組項目	目標時期	取組機関	取組方針に基づく取組状況
■排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等				
21	・長年にわたり浸水が継続する地域(干拓地等)において、災害時における排水ポンプ派遣について、国などの関係機関の連携を強化する	順次実施	彦根市 滋賀県	・可搬式ポンプ(3インチ)2基、発電機1基、水中ポンプ(2インチ)3基、水中ポンプ(8インチ)1基を常備。個別に建設業者と連携体制あり。(彦根市) ・稲枝排水機場の受益である稲枝大川樋門および田附樋門については、横引き水路整備による内水排除対策を講じるため2019年度計画策定業務を実施。受益外の新海樋門についても、この整備に併せて改善が図れるよう水資源機構等、関係機関と調整中。(彦根市)
	・水資源機構との連携や、機構の対象区域外の体制について確認する	順次実施	彦根市 滋賀県	
■浸水被害軽減地区の指定				
22	・浸水被害軽減地区の対象となる施設について抽出し、氾濫シミュレーション等の情報を提供する	2019.3まで	滋賀県	・担当者会議の場で情報共有した。
	・協議会の場を活用して、指定の予定や指定にあたっての課題を共有し、連携して指定に取り組む	順次実施	1市4町 滋賀県	・施設を抽出し、シミュレーションを行ったが、浸水被害軽減の効果は小さいため、指定を見送った。

4)河川管理施設、土砂災害防止施設の整備等に関する事項

記載根拠	主な取組項目	目標時期	取組機関	取組方針に基づく取組状況
■堤防等河川管理施設の整備(洪水氾濫を未然に防ぐ対策)				
23	・「滋賀県河川整備5ヶ年計画(平成31年3月)湖東土木事務所管内(別紙1)」により河川改修を実施する	引き続き実施	滋賀県	・計画に基づき河川改修を順次実施。
	・湖東土木事務所管内維持管理計画に基づく維持管理を実施する	引き続き実施	滋賀県	・点検等により必要な箇所を抽出し、順次実施。
	・砂防事業実施箇所位置図(別紙2)により土砂災害防止施設の整備を実施	引き続き実施	滋賀県	・施設整備を順次実施。
■決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫				
24	・「滋賀県河川整備5ヶ年計画(平成31年3月)湖東土木事務所管内(別紙1)」により堤防強化を実施する	引き続き実施	滋賀県	・計画に基づき堤防強化を順次実施。
■ダム再生の推進				
25	・長寿命化計画の見直しを行う	順次実施	滋賀県	
	・ダム再生に向けた事業化の検討を行う 運用面での治水効果向上 施設改築による治水効果向上	順次実施	滋賀県	
■樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保				
26	・河川管理者が設置している樋門について確認し、無動力化の検討を行う	順次実施	滋賀県	・当管内に該当する樋門は無い。

5)減災・防災に関する取組および支援(流域治水条例に係る取組を含む)

記載根拠	主な取組項目	目標時期	取組機関	取組方針に基づく取組状況
■水防災社会再構築・土砂災害防止対策に係る支援				
28	・水害・土砂災害に強い地域づくり協議会の運営により市町の取組を支援する	引き続き実施	滋賀県	・協議会を運営し支援した。
■適切な土地利用の促進				
30	・土地利用規制の取組を実施する(1/10、50cm市街化編入しないなど)	引き続き実施	滋賀県	引き続き実施
■そなえる対策の実施				
—	・地域におけるタイムライン等の作成を支援する	引き続き実施	滋賀県	・水害対応タイムラインを先行的に策定し、各市町に情報共有した。
	・地域の要請に応じ「我が家の避難カード」、「防災マップ」の作成を支援する	順次実施	滋賀県	
	・地域の要請に応じ住民と連携し、避難経路・河川周辺を現地調査する	順次実施	滋賀県	
■貯留浸透対策の推進				
—	・公共施設等での貯留設備を整備する	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・河瀬小学校放課後児童クラブ駐車場、稲枝駅東口駅前広場に整備済み。新市民体育センター駐車場で施工中。(彦根市) ・必要に応じて整備を実施。今後の設置については検討中。(多賀町) ・今後検討(甲良町) ・現段階で該当する設備は無い。(滋賀県)
	・農地・森林での貯留対策を推進する	引き続き実施	1市4町 滋賀県	・農地については、中山間地域等直接支払制度および世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業を活用し、農地の保全および老朽化した水利の回収を順次実施している。森林については、持ち出し間伐に対して県事業の上乗せ補助を実施するとともに、国県補助対象事業に町単の上乗せ補助を行い、保育の推進をおこなっている。また、境界明確化事業を行い、森林所有者を明確にし、健全な森林を維持するように推進している。(多賀町) ・今後検討(甲良町) ・現段階で該当する地域は無い。(滋賀県)